

地域防災GIS〔水災害〕研修

近年、大規模な水害が頻発しています。風水害、土砂災害等に備えるハザードマップの作成、更新に取り組んでいる地方自治体も多いことと思われます。GISはハザードマップの整備だけでなく、防災情報の集約・共有・発信、被災時・復興時の意志決定支援などのために大きな力を発揮するツールとなります。

本研修では、風水害、土砂災害等に係る防災分野に特化したGIS、地理空間情報の活用技術を修得することができます。防災計画策定、災害対応等の関連部署におかれまして、GISの導入による業務の高度化、効率化をお考えの皆様には最適な研修です。

- 研修期間：A 平成23年11月30日(水)～12月8日(木)(9日間) [全期間]
B 平成23年12月5日(月)～12月8日(木)(4日間) [ArcGIS習熟者、GIS実習(ArcGIS)既受講者]
- 研修科目：A 講義10科目(15.0時間) 課題研究・GIS実習(29.5時間) 入校式等(2時間) 計46.5時間
B 講義7科目(10.5時間) 課題研究(14.5時間) その他(0.5時間) 計25.5時間
- 対象：国、地方公共団体、独立行政法人、団体等の職員で、風水害、土砂災害関連の防災計画、災害対応等に係る業務担当部署において、GIS、地理空間情報を取り扱う者
- 定員：23名(業務経験年数、事務系・技術系の別は問いません。)
- 経費：テキスト、参考書籍等 約10,000円 食費 1,510円/日 寮費 1,090円/泊
- 研修場所：国土交通大学校 小平本校(〒187-8520 東京都小平市喜平町2-2-1)

この研修の構成は

本研修は次の3本の柱で構成され、それらの相乗効果により最大限の効果が上がるように工夫されています。

- 【講義・事例紹介】で防災に係る基礎知識とGISの具体的活用事例を学習する。
- 【GIS実習】でArcGISの機能・基本的操作手法について基礎から修得する。
- 【課題研究】で、班毎に決定したサブテーマに基づき、それまで学んだことを活用しながら、ArcGISでデータを分析、処理し、発表会で検討結果を報告する。

主な講師と講義タイトル

- 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター センター長・教授
【GISを活用した効果的な危機対応の推進】
- 東京大学空間情報科学研究センター 副センター長・教授
【GISを用いた地形解析】
- (独)防災科学技術研究所 防災システム研究センター 研究員
【防災GISとリスクコミュニケーション】
- (財)河川情報センター 理事
【洪水時の避難誘導に活用する地図情報】

受講者の声(修了レポートより)

- この研修を通じて、防災に関する地理情報を活用するために必要な基礎的な知識、解析手法の取得が図られたのではないかと思います。職場に帰って研修の成果を業務に活かしていきたい。
- 何もないところからGISを使って地図を作り上げ、必要な解析を行うという一連の事が出来たので、今後役に立つと考えている。
- 災害現場でGISを駆使した被害状況把握や復旧管理を实践された講師のお話には感銘を受けた。

国土交通省以外の受講者派遣元【ご参考】

- 陸上自衛隊
- 滋賀県・京都府・大阪府・静岡市・豊田市・福山市・山口市・大分市
- (独)水資源機構・(独)北海道開発土木研究所
- (独)土木研究所寒地土木研究所
- (財)日本測量調査技術協会・(社)全国測量設計業協会連合会
- (社)日本測量協会測量技術センター



GIS実習



課題研究(班別討議)



課題研究発表会



ハザードマップ(イメージ)

ハザードマップ作成、災害情報の集約・共有・発信、災対本部における情報解析班設置等について実践的なヒントが得られます。

台風12号による豪雨災害 - 災害情報共有マップ -

台風12号による豪雨災害(2011.9)
-災害情報共有マップ-
出展:国土地理院HP

主な講義内容・キーワード(予定)

- GISの基礎知識
- GIS導入のポイント
- GISの利活用事例
- 地理空間情報
- 防災地理情報
- ハザードマップ
- 災害情報の集約・共有・発信
- 国土交通省の防災対策
- 電子国土Webシステム
- GIS・DEMを用いた地形解析
- リスクコミュニケーション
- 3つのリスク知と防災対策
- 氾濫予測
- リアルタイムシミュレーション

各班の研修成果 課題研究発表会 スライド例

ArcGISでのデータ整理の例(1)

緊急ヘリポート候補地の位置確認(中津地区)



津波ハザードマップ

【研修担当者より皆様へ】
環境・防災情報研修官の高橋です。「全国から集まった職種も年齢も異なる研修員と意見交換するうちに、業務上の問題を解決する糸口が見えてきた。」...こんなこともあるんです。晩秋の色を残す国交大でGISにチャレンジしてみませんか。ギンナンとともに皆様のご来校をお待ちしています。